

(82)

氏名(生年月日)	キタ 北	ガワ 川	トヨ 豊	コ 子
本 籍				
学位の種類	博士(医学)			
学位授与の番号	乙第2149号			
学位授与の日付	平成14年3月15日			
学位授与の要件	学位規則第4条第2項該当(博士の学位論文提出者)			
学位論文題目	生活習慣の脂質検査値に及ぼす影響			
論文審査委員	(主査) 教授 香川 順			
	(副査) 教授 永井 厚志, 宮崎 俊一			

論 文 内 容 の 要 旨

〔目的〕

生活習慣病の発症には個人のライフスタイルが大きく影響するが、疾病の発症を防ぐには生活習慣を見直し、健康を増進して疾病の発症を予防する一次予防が重要である。そこで、事務系事業所に勤務する労働者の運動・飲酒・喫煙・食生活などの生活習慣が血清脂質値と body mass index (BMI) に及ぼす影響について分析・検討することにより、生活習慣の改善に資する知見を得ることを目的とした。

〔対象および方法〕

1993年から1997年にかけて、事務系事業所に勤務する35・40・45・50・55歳の者を対象に総計2,745人について、質問票調査および採血を実施した。生活習慣に関する質問項目として、運動・飲酒・喫煙および食習慣の状況について自記式で回答してもらった。血清脂質はオートアナライザー(CIBA-CORNING社製550EXPRESS, USA)で総コレステロール(TC), トリグリセライド(TG), high density lipoprotein コレステロール(HDLC)を測定した。

〔結果〕

血清脂質値およびBMIの年齢の影響をみるため分散分析を行った結果では、男女ともTC, TGおよびHDLCにおいて年齢階級間で有意差が認められた。生活習慣では運動しない若年層が目立ち、食習慣では卵類・魚介類, 大豆製品, 野菜類・海藻類を毎日摂取す

る傾向が高年層にみられた。BMIおよび脂質値に、どの生活習慣が最も影響を及ぼしているのか、ロジスティック回帰分析を行った結果、BMIに影響する因子は、男性では食生活(めん類), TCでは男性は年齢・食生活(卵・大豆), 女性は年齢, HDLCでは男性は喫煙, TGでは男性は運動と食生活(パン・めん類), 女性は喫煙の影響が強くみられた。

〔考察〕

運動習慣では男性若年層が低く、体重増加と高脂質を示す一因となる可能性がある。50歳男性の64%に喫煙習慣があり、喫煙による健康影響が、今後拡大することが予想される。若年層の好ましくない食生活習慣に比べ、高齢層では男女とも健康に対する関心と健康食志向が認められた。40歳男性の急激なTG上昇は、運動習慣・パンやめん類との関連が示されたことから、TCばかりでなくTGの上昇をもたらす生活習慣の改善にも注意を払う必要がある。

〔結論〕

今後も増加が予想される生活習慣病の発症には、ライフスタイルのあり方が大きく影響している。結果からBMIと脂質値には、生活習慣の中で特に食生活、次いで喫煙習慣の影響が認められたが、生活習慣の変容達成には個人の主体的な取組と同時に医療・保健関係者の支援が重要である。

論文審査の要旨

生活習慣病の発症には個人のライフスタイルが大きく関与するが、運動・飲酒・喫煙・食生活などの生活習慣が血清脂質値と body mass index (BMI) に及ぼす影響を調べ、生活改善に資する知見を得ることを目的に以下の調査を実施した。

1993年から1997年にかけて、事務系事業所に勤務する35・40・45・50・55歳の者を対象に総計2,745人について、質問票調査および採血を実施し、総コレステロール (TC), トリグリセライド (TG), high density lipoprotein コレステロール (HDL) を測定した。

生活習慣では運動しない若年層が目立ち、食習慣では卵類・魚介類、大豆製品・野菜類・海藻類を毎日摂取する傾向が高年層にみられた。ロジスティック回帰分析の結果、BMIに影響する因子は、男性では食生活(めん類), TCでは男性では年齢・食生活(卵・大豆), 女性では年齢, HDLでは男性は喫煙, TGでは男性では運動と食生活(パン・めん類), 女性では喫煙の影響がみられた。

これらの知見は、生活習慣病の予防に関わる医療・保健関係者に貴重な情報を提供するものである。

主論文公表誌

生活習慣の脂質検査値に及ぼす影響

東京女子医科大学雑誌 第71巻 第11・12号
806-822頁(平成13年12月25日発行)北川豊子, 堤亜樹子, 香川 順, 野原理子

副論文公表誌

- 1) 北陸 T 市一産婦人科外来における風疹 HI 抗体測定成績—1975年9月～1981年8月—, 東女医大誌

54(5):411-421(1984)北川豊子

- 2) 就労女性の問題点—これまでの研究と今後の課題—, 産業医レビュー 14(2):119-129(2001)野原理子, 北川豊子, 繁富 綾, 香川 順
- 3) 小企業主のストレスに関するケース・コントロール・スタディ, 北陸公衛会誌 17(1):35-41(1990)松原 勇, 鏡森定信, 成瀬優知, 柳下慶男, 市堰英之, 北川豊子